

科目名	英語IV English IV			担当教員	藤井 数馬		
学年	4年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	11G04_20270	単位区別	履修
学習目標	英語を学ぶときには、4技能の習得が不可欠である。この授業では、特に四技能全ての力を支える文法知識と語彙知識を育成することに重点を置く。						
進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書を使った精読により、文法や語彙や語法に気をつけながら丁寧に読み読解力を高める。 2. 多読活動により、英語の速読力、語感を養う。 3. 語彙演習により、語彙力を高める。 						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	精読(7) 教科書 Unit 1 Lesson 1~Unit 3 Lesson 2 正確に英文を読み、音読、英作文等を通して英語を頭に残すことを目的とする。 多読(7) 英語を大量にインプットすることで、英語の語感や英語を英語として捉える習慣を身につける。単語学習、TOEIC 対策は適宜行う。 ----- [前期中間試験] (1)			精読では、文法や語法に気をつけながら正確に英文が表す意味を捉えることで、英文読解力の向上を目標とする。多読では、英語を大量にインプットすることで、英語を英語のまま捉える(和訳しない)習慣を身につけながら語感を養う。これらがそのまま TOEIC 対策となる。 語彙は、小テストを通して増強する。B1:1-2 B2:1-2			
	試験問題の解答(1), 精読(6) 教科書 Unit 4 Lesson 1~Unit 6 Lesson 2 正確に英文を読み、音読、英作文等を通して英語を頭に残すことを目的とする。 多読(7) 英語を大量にインプットすることで、英語の語感や英語を英語として捉える習慣を身につける。単語学習、TOEIC 対策問題は適宜行う。			精読では、文法や語法に気をつけながら正確に英文が表す意味を捉えることで、英文読解力の向上を目標とする。多読では、英語を大量にインプットすることで、英語を英語のまま捉える(和訳しない)習慣を身につけながら語感を養う。これらがそのまま TOEIC 対策となる。 語彙は、小テストを通して増強する。B1:1-2 B2:1-2			
	前期末試験 試験問題の解答(1), 精読(6) 教科書 Unit 7 Lesson 1~Unit 9 Lesson 2 正確に英文を読み、音読、英作文等を通して英語を頭に残すことを目的とする。 多読(7) 英語を大量にインプットすることで、英語の語感や英語を英語として捉える習慣を身につける。単語学習、TOEIC 対策問題は適宜行う。			精読では、文法や語法に気をつけながら正確に英文が表す意味を捉えることで、英文読解力の向上を目標とする。多読では、英語を大量にインプットすることで、英語を英語のまま捉える(和訳しない)習慣を身につけながら語感を養う。これらがそのまま TOEIC 対策となる。 語彙は、小テストを通して増強する。B1:1-2 B2:1-2			
	[後期中間試験] (1) 試験問題の解答(1), 精読(6) 教科書 Unit 10 Lesson 1~Unit 12 Lesson 2 正確に英文を読み、音読、英作文等を通して英語を頭に残すことを目的とする。 多読(7) 英語を大量にインプットすることで、英語の語感や英語を英語として捉える習慣を身につける。単語学習、TOEIC 対策は適宜行う。			精読では、文法や語法に気をつけながら正確に英文が表す意味を捉えることで、英文読解力の向上を目標とする。多読では、英語を大量にインプットすることで、英語を英語のまま捉える(和訳しない)習慣を身につけながら語感を養う。これらがそのまま TOEIC 対策となる。 語彙は、小テストを通して増強する。B1:1-2 B2:1-2			
	後期末試験						
評価方法	年4回の定期試験を80%、課題・取り組み態度・小テストなどを20%の比率で総合評価を行う。						
履修要件	特になし						
関連科目	特になし						
教材	『理工系学生のための必修英単語 COCET 3300』 亀山太一他 成美堂 『Read and Think!』 Ken Beatty Pearson Longman						
備考	積極的な授業参加を求める。						